



株式会社サンゲツ
2022年3月期第1四半期
決算補足説明資料

証券コード：8130
(東証一部、名証一部)



D.C. 2022
Design & Creation

当資料は、2022年3月期第1四半期決算短信について、
「収益認識に関する会計基準」等の適用による変更内容を補足説明するものです。

INDEX

- | | |
|---|--------|
| 1. 連結損益計算書 | ・・・P.2 |
| 収益認識基準等を適用しなかった場合の前期差・前期比および主な増減要因 | |
| 2. セグメント別売上高・営業利益 | ・・・P.3 |
| 収益認識基準等を適用しなかった場合の前期差・前期比 | |
| 3. 「収益認識に関する会計基準」等の適用について | ・・・P.4 |
| 収益認識基準等の適用に伴う主な変更点 | |
| 4. 収益認識基準等の適用による影響／連結 | ・・・P.5 |
| 収益認識基準等の適用に伴う連結損益計算書の各科目への影響額および影響要因 | |
| 5. 収益認識基準等の適用による影響／セグメント別 | ・・・P.6 |
| 収益認識基準等の適用に伴うセグメント別売上高・営業利益への影響額および影響要因 | |

1. 連結損益計算書

	2021年3月期 第1四半期	2022年3月期 第1四半期					(億円、%)
	収益認識基準 適用：無 (A)	収益認識基準 適用：有	収益認識基準 適用：無 (B)	(適用：無での比較)			
				前期差 (B)-(A)	前期比 (B)/(A)	主な増減要因	
売上高	352.5	344.9	366.9	14.3	+4.1%	【インテリアセグメント】 ・ ウェーブブロックインテリア連結 ・ 住宅リフォーム・非住宅リニューアルの回復 【海外セグメント】 ・ 新型コロナウイルス影響の拡大・長期化	
売上総利益	115.5	89.3	121.2	5.7	+5.0%	【インテリアセグメント】 ・ ウェーブブロックインテリア連結	
販売費及び 一般管理費	102.0	80.3	112.5	10.4	+10.2 %	【インテリアセグメント】 ・ 見本帳関連 (+2.7) ・ 新関西ロジスティクスセンター関連 (+2.5) ・ ウェーブブロックインテリア連結 (+3.4) 【海外セグメント】 ・ 活動制約 (▲2.9)	
営業利益	13.4	8.9	8.7	▲4.6	▲35.0%	—	
経常利益	15.3	9.6	9.4	▲5.9	▲38.5%	—	
親会社株主に 帰属する 四半期純利益	10.6	6.0	5.8	▲4.8	▲45.6%	—	

2. セグメント別売上高・営業利益

事業セグメント	2021年3月期 第1四半期	2022年3月期 第1四半期 (億円、%)			
	収益認識基準 適用：無 (A)	収益認識基準 適用：有	収益認識基準 適用：無 (B)	(適用：無での比較)	
				前期差 (B)-(A)	前期比 (B)/(A)
インテリアセグメント 売上高	263.3	287.2	285.1	21.7	+8.3%
営業利益	13.8	10.3	10.1	▲3.6	▲26.4%
エクステリアセグメント 売上高	37.0	14.0	38.0	0.9	+2.5%
営業利益	1.2	1.2	1.2	0.0	+0.7%
海外セグメント 売上高	44.7	34.7	34.7	▲9.9	▲22.2%
営業利益	▲1.7	▲2.7	▲2.7	▲0.9	—
スペースクリエーションセグメント 売上高	10.1	13.0	13.0	2.8	+28.3%
営業利益	0.2	0.0	0.0	▲0.1	▲68.8%
セグメント間取引調整(売上高)	▲2.7	▲4.0	▲4.0	▲1.3	—
セグメント間取引調整(営業利益)	▲0.0	▲0.0	▲0.0	0.0	—
連結売上高	352.5	344.9	366.9	14.3	+4.1%
連結営業利益	13.4	8.9	8.7	▲4.6	▲35.0%

3. 「収益認識に関する会計基準」等の適用について

2022年3月期より、「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号）等を適用しており、これによる主な変更点は、以下のとおりです。

1) .配送サービスに係る収益認識

【インテリアセグメント】

- ・ロジスティクスセンターにおける費用(運賃を含む)を販管費から売上原価に変更。
- ・顧客から受け取る配送サービス費用を販管費の控除から売上高の計上に変更。

2) .代理人取引に係る収益認識

【インテリアセグメント】

- ・自社で在庫を保有しない取次品に関しては、総額から仕入先に対する支払額等を差し引いた純額で売上高を計上。

【エクステリアセグメント】

- ・サングリーンは、取引高のうち多くを占める在庫リスクを有しない卸売に関して、総額から仕入先に対する支払額等を差し引いた純額で売上高を計上。

3) .販売手数料等の顧客に支払われる対価

【インテリアセグメント】

- ・販売店に対し支払う販売奨励金を、従来の販管費処理より取引価格（売上高）からの減額に変更。

4. 収益認識基準等の適用による影響／連結

	2022年3月期 第1四半期			(億円)
	収益認識基準 適用：無	収益認識基準 適用：有	影響額	主な影響要因
売上高	366.9	344.9	▲21.9	【エクステリアセグメント】 ・ 代理人取引の差し引き計上 (▲23.9) 【インテリアセグメント】 ・ 取次品・販売奨励金の差し引き計上 ・ 顧客から受け取る配送サービス費の組み換え
売上原価	245.6	255.6	9.9	【インテリアセグメント】 ・ ロジ関連費用 販管費からの組み換え 【エクステリアセグメント】 ・ 代理人取引の差し引き計上 (▲23.9)
売上総利益	121.2	89.3	▲31.8	—
販売費及び 一般管理費	112.5	80.3	▲32.1	【インテリアセグメント】 ・ ロジ関連費用 売上原価への組み換え ・ 販売奨励金 売上高より差し引き計上 ・ 顧客から受け取る配送サービス費の組み換え
営業利益	8.7	8.9	0.2	【インテリアセグメント】 ・ 工事完成基準から進行基準への変更
経常利益	9.4	9.6	0.2	—
親会社株主に帰属 する四半期純利益	5.8	6.0	0.2	—

5. 収益認識基準等の適用による影響／セグメント別

事業セグメント	2022年3月期 第1四半期			(億円)
	収益認識基準 適用：無	収益認識基準 適用：有	影響額	主な影響要因
インテリアセグメント 売上高	285.1	287.2	2.0	(-) 取次品・販売奨励金の差し引き計上 (+) 顧客から受け取る配送サービス費の組換え
営業利益	10.1	10.3	0.2	(+) 工事完成基準から進行基準への変更
エクステリアセグメント 売上高	38.0	14.0	▲23.9	(-) 代理人取引による差し引き計上
営業利益	1.2	1.2	—	
海外セグメント 売上高	34.7	34.7	—	
営業利益	▲2.7	▲2.7	—	
スペースクリエーションセグメント 売上高	13.0	13.0	—	
営業利益	0.0	0.0	—	
セグメント間取引調整(売上高)	▲4.0	▲4.0	—	
セグメント間取引調整(営業利益)	▲0.0	▲0.0	—	
連結売上高	366.9	344.9	▲21.9	
連結営業利益	8.7	8.9	0.2	

Joy of Design